

# ご葬儀後の流れ

## 仏式

	法 要	行 う こと
お亡くなり の日		<b>お世話になった方々へのご挨拶</b> 宗教者様、ご町内、勤務先などお世話になった 方々へのご挨拶はなるべく早めに。
3日目		
7日目	初七日法要	<b>①法要の準備</b> ▶2枚目参照 各法要の日取りなど、早めに宗教者様と打合せし 参列者へのご案内・粗供養・お料理の準備をします。
10日目		
14日目	二七日法要	
20日目		<b>②お礼状・感謝のお品の準備</b> ▶2枚目参照 供花・弔電をいただいた方へのお礼状などの 準備をご葬儀後早めに整えます。
21日目	三七日法要	
28日目	四七日法要	<b>③お香典返しの準備</b> ▶2枚目参照 忌明けの2週間前までに 挨拶状やお返しの品などの準備を整えます。
30日目		
35日目	五七日法要	
40日目		<b>④お仏壇・本位牌の準備</b> ▶2枚目参照 忌明けまでにお仏壇・本位牌の準備をします。
42日目	六七日法要	
49日目	忌明法要	<b>⑤形見分け</b> ▶2枚目参照 忌明けなどを目安に。
50日目		<b>⑥喪中ハガキの準備</b> ▶2枚目参照 11月頃に。
		<b>お墓の準備、購入</b> ご納骨までに。
100日目	百ヶ日法要	<b>お彼岸</b> 春分の日、秋分の日を中日 として、その前後の3日を あわせた7日間をお彼岸 といいます。
1年後	一周忌法要	<b>初盆</b> 忌明け前にお盆を迎えた ときは、その年ではなく翌年 のお盆が「新盆(初盆)」と なります。 京都では8月15日を中心に 行われています。
2年後	三回忌法要	
3年後		
5年後		
6年後	七回忌法要	

# ご葬儀後に行うこと

## ① 法要の準備

忌日はお亡くなりになられた日から数えて七日毎に七回と月忌・百か日ですが、法要はお速夜として忌日の前夜に行われています。四十九日までの間を「中陰」といい、四十九日の法要が終わって満中陰(忌明け)となります。

各法要の粗供養・お料理の準備、会場のお手配など当社へお申し付け下さい。

## ② お礼状・感謝のお品の準備

供花や弔電をいただいた方へ感謝の気持ちを伝えます。お礼状やお品をご準備されると丁寧です。

感謝のお品のお手配は当社へお申し付け下さい。

## ③ お香典返しの準備

品物の金額はお香典額の3～5割見当です。送り先名簿を作って忌明けの2週間程前には取扱店へ注文して発送を依頼します。品物には忌明け挨拶状を同封しますが、先方へ届く日は配送の都合で忌明けの3・4日前後することはあります。

お香典返しのお品や、忌明けの礼状の印刷は当社へお申し付け下さい。

## ④ お仏壇・本位牌の準備

満中陰まで白木の位牌でおまつりをしますが、忌明けと共に塗り位牌に代えてお仏壇におまつりをします(宗派により異なります)。準備には2週間ほどかかりますので早めにご準備されることをおすすめします。

仏壇・仏具のご購入は当社へお申し付け下さい。

## ⑤ 形見分け

形見分けするものと処分をするものに分けます。大切な遺品は丁寧にお焚き上げ供養をします。住所録や手帳など後で必要になりそうなものは保管しておく事をお勧めします。

「遺品整理」のお手配は当社へお申し付け下さい。

## ⑥ 喪中ハガキの準備

11月に入ったら喪中ハガキの準備を始めましょう。ご葬儀が12月～年末など時期により喪中ハガキが出せなかった場合は、翌年の松の内が明ける1月7日～15日ごろに寒中見舞いとして挨拶状を送ります。

喪中ハガキの印刷は当社へお申し付け下さい。